

2

使用するまでの流れ /準備/基礎知識

使用するまでの流れ	P.2-2	機器の設置	P.2-18
使用するまでの流れ	P.2-2	センサーの設置	P.2-18
各部の名称と機能	P.2-3	本体を設置する	P.2-22
本体	P.2-3	日付/時刻の設定	P.2-23
開閉センサー	P.2-5	日付/時刻の設定	P.2-23
リモコン	P.2-5	画面表示について	P.2-24
USIMカードをご利用になる前に ...	P.2-6	画面表示について	P.2-24
USIMカードをご利用になる前に	P.2-6		
USIMカードの取り付け/取り外し P.2-7			
USIMカードを取り付ける	P.2-7		
USIMカードを取り外す	P.2-8		
電源の準備	P.2-9		
センサーに電池を取り付ける	P.2-9		
リモコンに電池を取り付ける	P.2-10		
電池パックを取り付ける	P.2-11		
本体にACアダプタを接続する（電源を入れる）.....	P.2-12		
.....	P.2-12		
電源を切る	P.2-13		
初期設定	P.2-13		
初期設定	P.2-13		

使用するまでの流れ

使用するまでの流れ

本製品を使用するまでの主な流れは、下記のとおりです。各ページの記載に従って正しく設定、設置してください。

2

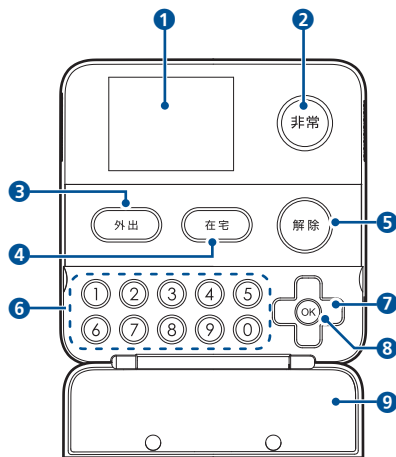
使用するまでの流れ／準備／基礎知識


- 1 USIMカードを取り付ける (▶ P.2-7)
- 2 本体に電池パックを取り付ける (▶ P.2-11)
- 3 センサーとリモコンに電池を取り付ける (▶ P.2-9、▶ P.2-10)
- 4 本体にACアダプタを取り付ける (▶ P.2-12)
- 5 電源を入れる (▶ P.2-12)
- 6 初期設定（機器の登録など）をする (▶ P.2-13)
- 7 本体とセンサーを仮設置して、センサーテストを行う (▶ P.2-21)
- 8 本体とセンサーを設置する (▶ P.2-19)

本体

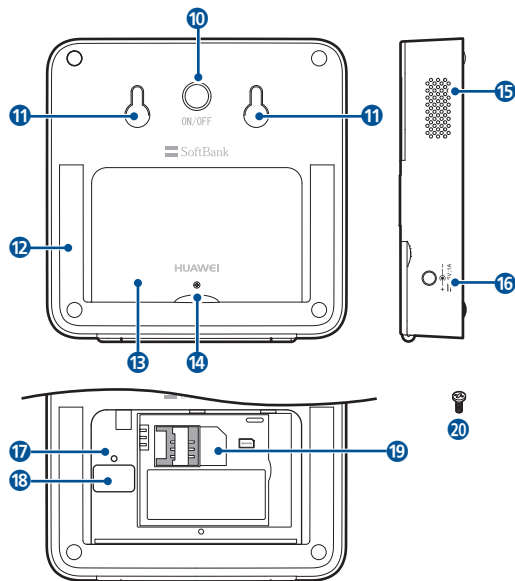
■ 本体前面

・（カッコ）内は、本書内で使用される表記です。



- 1 ディスプレイ
- 2 非常ボタン（非常）
異常検知時に、ランプが点灯します。
ボタンを押すとアラームが鳴動します。
- 3 外出モードボタン（外出）
ボタンを押すと外出モードが起動します。
- 4 在宅モードボタン（在宅）
ボタンを押すと在宅モードが起動します。
長押しで帰宅待ちモードが起動します。
- 5 解除ボタン（解除）
ボタンを押すと起動中のモードが解除されます。
※メニュー表示中に、前画面に戻ることもできます。
- 6 数字ボタン（①～⑩）
暗証番号の入力や、本体の動作設定時に使用します。
- 7 十字ボタン（)
メニュー表示中に、選択項目の移動や切り替えに使用します。
- 8 OKボタン（OK）
待受け中：メニューを表示します。
メニュー表示中：選択項目の決定に使用します。
- 9 フロントカバー
※フロントカバーは、力が加わると結合部が外れる仕組みとなっております。フロントカバーが外れた場合、結合部のピンを押し込んだ状態で取り付けてください。

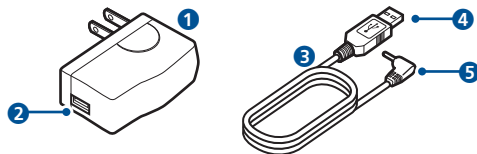
■ 本体背面



- ⑩ 電源ボタン
電源の入/切をします (▶ P.2-12、▶ P.2-13)。
- ⑪ 壁掛け用穴

- ⑫ スタンド
- ⑬ 電池カバー／電池ボックス
- ⑭ 電池カバー用ネジ穴
- ⑮ スピーカ
- ⑯ 電源コネクタ差込口
付属のACアダプタを接続します (▶ P.2-12)。
- ⑰ リセットボタン
本体の設定を初期化します (▶ P.6-2)。
- ⑱ セキュリティシール
このテープははがさないでください。故障の原因となります。
- ⑲ USIMカードスロット
USIMカードを取り付けます (▶ P.2-7)。
- ⑳ 電池カバー用ネジ

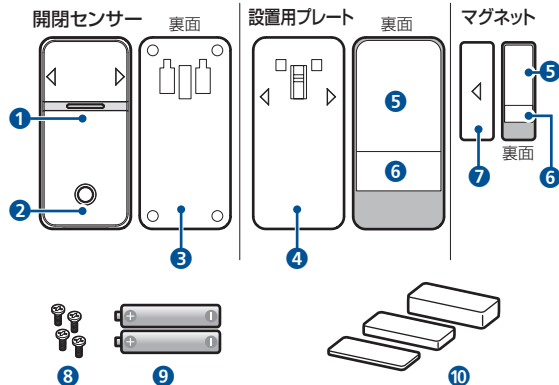
■ ACアダプタ



- ① ACアダプタ
- ② USB接続端子
USBケーブルのUSB端子を接続します。

- ③ USBコネクタ
- ④ USB端子
- ⑤ 電源コネクタ

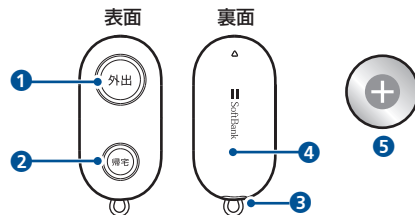
開閉センサー



- ① 動作ランプ
- ② ペアリングボタン
- ③ 電池カバー
- ④ 設置用プレート
- ⑤ 設置用剥離紙

- ⑥ 仮設置用剥離紙
- ⑦ マグネット
- ⑧ 電池カバー用ネジ×4本
- ⑨ 単四乾電池×2本
- ⑩ 高さ調節用プレート×3 (約10mm、5mm、3mm)

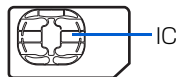
リモコン



- ① 外出ボタン (外出)
外出モードを起動します (▶ P.3-2)。
- ② 帰宅ボタン (帰宅)
起動中のモードの解除やアラームの停止をします。
- ③ ストラップリング
- ④ 電池カバー／電池ボックス
- ⑤ リモコン用ボタン電池 (CR2032)

USIMカードをご利用になる前に

USIMカードはお客様情報が入ったICカードです。本機は、USIMカードが取り付けられていないと、メール送信などをご利用いただけません。



USIM (ユーシム) カード

次の点にご注意ください。USIMカードの詳細については、USIMカードに付属の説明書を参照してください。

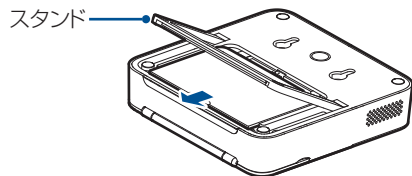
- USIMカードの取り付けや取り外しをするときには、必要以上に力を入れないでください。
- 電源を切らずに、USIMカードの取り付けや取り外しを行った場合の動作につきましては、保証いたしません。
- 他社製品のICカードリーダーなどにUSIMカードを挿入し、故障したときは、お客様ご自身の責任となり当社では責任を負いかねますのでご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れするときは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- USIMカードにラベルなどを貼り付けしないでください。USIMカードは非常に薄く、精密に作られているため、ラベルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因となることがあります。

ⓘ ご注意

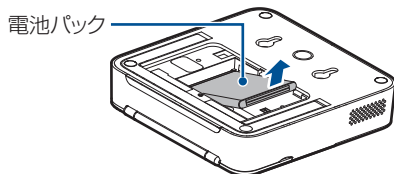
- USIMカードの所有権は当社に帰属します。
- 紛失、破損などによるUSIMカードの再発行は有償となります。
- 解約などの際は、USIMカードを当社にご返却ください。
- お客様からご返却いただいたUSIMカードは、環境保全のためリサイクルされています。
- USIMカードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。ご了承ください。
- USIMカードならびに本機（USIMカード挿入済み）の盗難・紛失の際は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。緊急利用停止の手続きについては、お問い合わせ先（➡ P.7-18）までご連絡ください。
- お客様ご自身でUSIMカードに登録された情報内容は、別途メモなどに控えて保管することをおすすめします。万一、データが消失または変化した場合でも、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 101HWは専用USIMカードが必要です。
- モジュール専用（2）USIMカードは他の端末では使用しないでください。

USIMカードを取り付ける

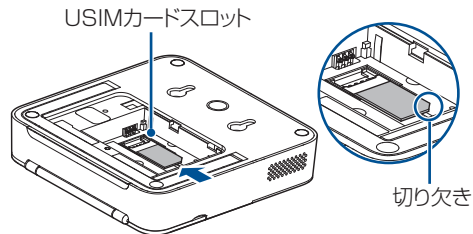
- 1 スタンドを持ち上げ、電池カバーを矢印の方向にスライドして取り外す



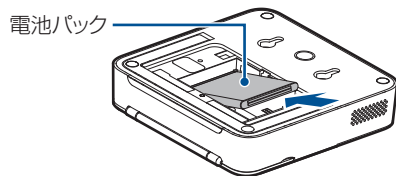
- 2 電池パックを矢印の方向に持ち上げて取り外す



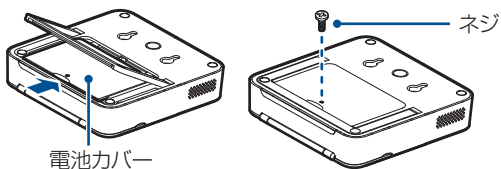
- 3 切り欠き部分の向きに注意してUSIMカードスロットに差し込む
しっかりと奥まで入れてください。



- 4 電池パックの印刷面を上にして、矢印の方向から取り付ける

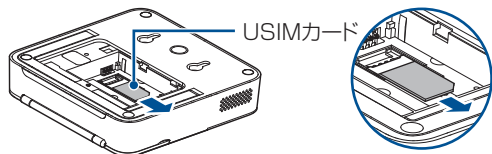


- 5** 電池カバーを元に戻し、電池カバー用のネジを取り付ける



USIMカードを取り外す

- 1** 電源を切る
- 2** 電池カバーを固定しているネジを取り外す
- 3** 電池カバーと電池パックを取り外す
- 4** USIMカードを矢印の方向にゆっくりとスライドして取り外す

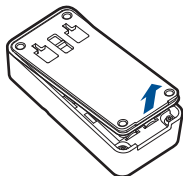


ⓘ ご注意

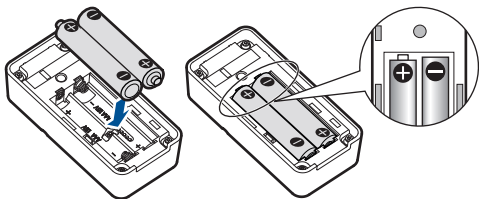
- 故障などの原因となりますので、電源が入っている状態でUSIMカードを取り外さないでください。

センサーに電池を取り付ける

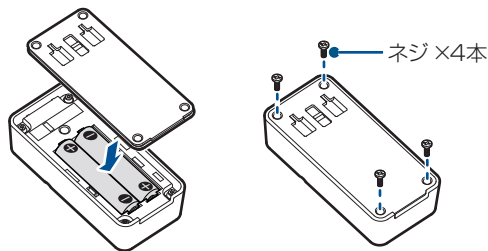
- 1 電池カバーを矢印の方向に引き上げて取り外す



- 2 電池の向きに注意して、電池を取り付ける
電池を取り付けると、自動的に電源がオンになります。



- 3 電池カバーを取り付け、ネジで固定する



センサーの電源について

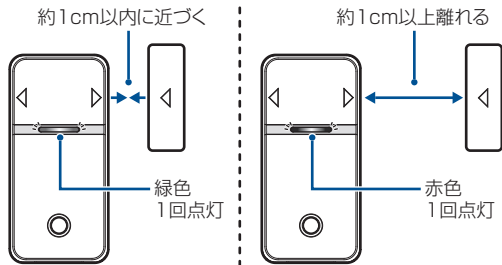
電池を取り付けると、自動的に電源がオンになります。

ⓘ ご注意

- センサーには電源 OFF の機能がありません。電源を切りたい場合は電池を取り外してください。

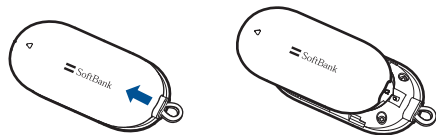
センサーの仕組みについて

マグネットとセンサーとの距離の変化によって、動作ランプが点灯して信号が本体に送信されます。

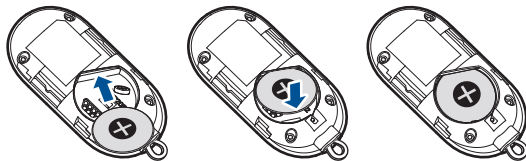


リモコンに電池を取り付ける

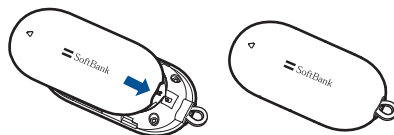
- 1 リモコンの電池カバーを矢印の方向にスライドして取り外す



- 2 下の図の様にプラス部分を上にして、電池を取り付ける



- 3 電池カバーを取り付ける

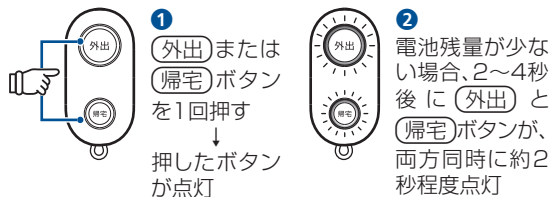


リモコンの電池残量の確認方法について

下記の手順でリモコンの電池残量を確認することができます。

- 1 リモコンの(外出)または(帰宅)ボタンのどちらかを1回押す
押したボタンのランプが点灯します。

電池残量が少ない場合は、2～4秒後に(外出)と(帰宅)ボタンのランプが、両方同時に約2秒程度点灯します。両方点灯した場合は、お早めに電池交換されることをお勧めいたします。

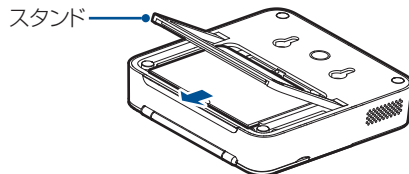


!! ご注意

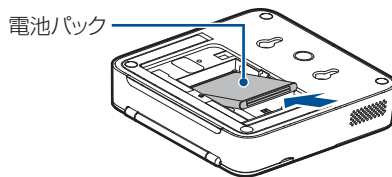
- 電池残量がある状態で(外出) ボタンを押すと、外出モードが起動されますのでご注意ください。
- 外出モード、帰宅待ちモード、在宅モードを起動中に(帰宅) ボタンを押すと、モードが解除されますのでご注意ください。

電池パックを取り付ける

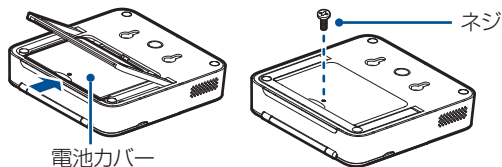
- 1 スタンドを持ち上げ、電池カバーを矢印の方向にスライドして取り外す



- 2 電池パックの印刷面を上にして、矢印の方向から取り付ける



- 3** 電池カバーを元に戻し、電池カバー用のネジを取り付ける



使いこなしチェック！

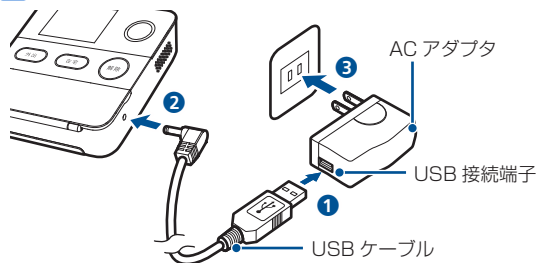
- 予備電源駆動に切り替わった場合。(▶ P.4-10)

本体にACアダプタを接続する（電源を入れる）

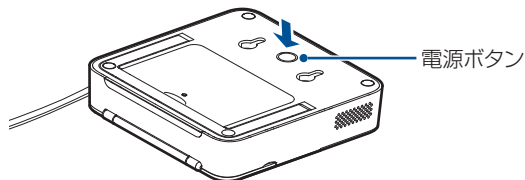
ACアダプタを接続すると、自動的に起動し、液晶が点灯します。

- 1** USBケーブルのUSBコネクタをACアダプタのUSB接続端子に差し込む
- 2** USBケーブルの電源コネクタを本体の電源コネクタ差込口に差し込む

- 3** コンセントにACアダプタを差し込む



- 4** 背面の電源ボタンを長押しして、電源を入れる
ACアダプタを接続すると、自動的に起動し、液晶が点灯します。電源ボタンを長押ししてください。

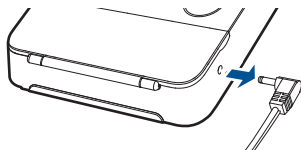


初めて起動した後は、初期設定画面が表示されます。「初期設定」(▶ P.2-13)を参照して初期設定を行ってください。

初期設定

電源を切る

1 ACアダプタを取り外す



2 背面の電源ボタンを押す

暗証番号の入力画面が表示されます。

管理者用暗証番号 (▶ P.5-6) を入力してⓀを押します。

ⓘ ご注意

- ACアダプタが接続された状態で電源を切ろうとすると、再度自動的に液晶が点灯します。
- 各モード起動中に ACアダプタが取り外されたり、取り付けられたりすると、メールが送信されます。

一度電源をOFFにしたあと、再度電源をONにする場合

電池パックが取り付けられ、ACアダプタが正しく接続されていることを確認して、電源ボタンを長押しします。「初期設定」(▶ P.2-13) が済んでいる場合、センサーテスト (▶ P.2-21) 画面が表示されます。

初期設定

下記の場合、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って、初期設定を行ってください。

- ご購入後、初めて電源をONにした時
- 本機を初期化した時→ (▶ P.6-2)

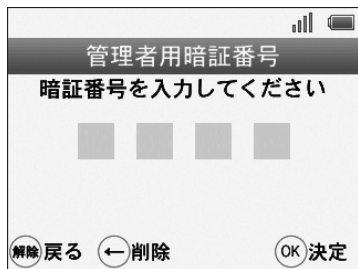
ⓘ ご注意

- 初期設定を行う際には、本体をセンサーとマグネット、リモコンの近くに置くなどして行ってください。

2

使用するまでの流れ／準備／基礎知識

1 管理者用暗証番号の設定



管理者用暗証番号設定画面

管理者暗証番号は、本体の設定変更や、アラームを停止するなどに使用します。

数字ボタンで4桁の暗証番号を入力してⓄを押します。



確認用に再度同じ暗証番号を入力してⓄを押します。

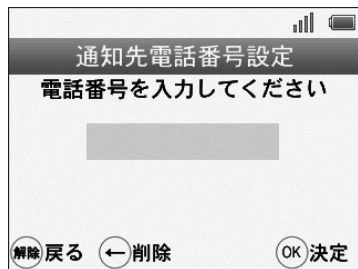
2 通知先電話番号の設定

本製品から発信されるメールを送信する宛先の電話番号などを登録します。電話番号は20件まで登録することができます。

数字ボタンで電話番号を入力してⓄを押します。後で登録する場合は、解除を押します。

Ⓞ! ご注意

- 登録を行う際には、登録されるユーザーの了承を得たうえで、登録を行ってください。



通知先電話番号登録画面

3 通知先の設定

■通知先の名称設定

手順2で登録した電話番号の名称を設定します。

画面に従い数字ボタンで名称を入力して、Ⓞを押します。

文字の入力方法については、「●文字入力について」(▶ P.5-5)を参照してください。

■通知先の通知/遠隔操作設定

各モード時の通知設定および遠隔操作の使用可否について設定します。

設定する場合は、項目を選択して $\text{\textcircled{OK}}$ を押します。



引き続き表示される設定画面で、「ON」または「OFF」を選択して $\text{\textcircled{OK}}$ を押します。

項目	説明
決定	設定内容を保存します。
在宅時の異常通知メール	「ON」に設定した場合、非常ボタンを押したときや、在宅／帰宅待ちモード中に異常を検知すると、メールが送信されます。
※ ¹ 帰宅通知メール	「ON」に設定した場合、外出モード設定中に、帰宅通知用暗証番号が使用された時に、帰宅をお知らせするメールが送信されます。
プリアラーム通知メール	「ON」に設定した場合、外出モードや帰宅待ちモード中にプリアラームが鳴動した時、メールが送信されます。
※ ² 定刻メール	「ON」に設定した場合、別途、設定した時刻に「現在起動中のモード」などがメールで送信されます。

項目	説明
※ ³ みまもり通知メール	「ON」に設定した場合、みまもりモードの結果がメールで送信されます。
遠隔操作	「ON」に設定した場合、メール(SMS)送信による遠隔操作が可能になります。 遠隔操作では、本機の動作設定を変更することや、検知／操作履歴の取得も可能です。設定の際は十分ご注意ください。

※¹ メール送信には帰宅通知用暗証番号の設定が必要です。(▶ P.5-6)

※² 定刻メールを設定するには、あらかじめその他の設定から定刻メール機能をONにする必要があります。(▶ P.4-2)

※³ メール送信にはみまもりモードの設定が必要です。(▶ P.3-10)

設定が完了したら、画面一番上の「決定」を選択して $\text{\textcircled{OK}}$ を押します。

他の通知先を登録する場合は、「さらに通知先電話番号を登録しますか?」と表示されている画面で $\text{\textcircled{OK}}$ を押します。

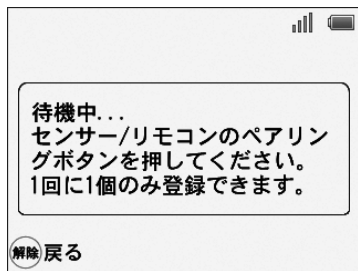
4 日時を設定

※自動的に設定された場合、表示されません。

本機では自動的に日時が設定されますが、日時を正常に設定できなかった場合、日時の設定画面が表示されます。設定画面が表示された場合は、数字ボタンまたは十字ボタンを使用して、日時を設定してください。設定方法の詳細は、「日付／時刻の設定」(▶ P.2-23) 手順4以降を参照してください。

5 センサーとリモコンの登録

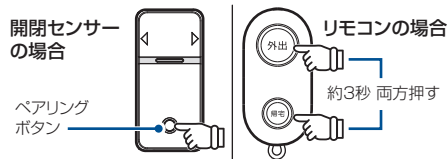
センサー / リモコン設定画面が表示されます。



センサー / リモコン設定画面

センサーを登録する場合、上の画面が表示されているときに、センサーのペアリングボタンを押します。

リモコンを登録する場合、リモコンの(外出)と(帰宅)を両方3秒程度押したままにします。



センサーまたはリモコンが検出されたら、10秒以内に(OK)を押して登録してください。

センサーおよびリモコンは、1台ずつ登録を行ってください。

※ペアリング中は一定時間センサーが反応しなくなりますが、故障ではありませんのでご注意ください。

6 センサー／リモコンの名称設定

センサーまたはリモコンを識別するための名称を設定します。

文字の入力方法については、「●文字入力について」(▶ P.5-5)を参照してください。

※センサーには設置している場所を名称として登録することをおすすめします。

別のセンサーまたはリモコンを登録する場合は、「さらにセンサー／リモコンを登録しますか？」と表示されている画面で(OK)を押します。

登録を終了する場合は(解除)を押します。

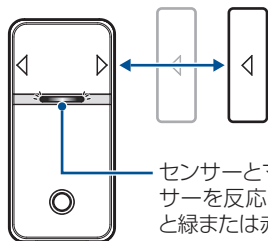
※ センサーとリモコンは合計16台まで登録できます。

7 センサーテスト

センサーテストでは、本体とセンサーが正しく通信できるかを確認できます。

センサーとリモコンの登録が完了したら、センサーテストが開始されます。

センサーから検知信号を本体へ発信させるために、センサーの動作ランプが点灯するまでセンサーとマグネットを動かします。(例：窓に設置している場合は、窓を開閉してください)



センサーが反応してランプが緑（閉まっている状態）または赤（開いている状態）に1回点灯すると、信号が本体に送信され、センサーを検知します。



緑と赤をそれぞれ検知すると画面に「完了」と表示されます。

センサーが複数ある場合は、すべてのセンサーに対して、同様の操作を行ってください。

8 配信確認メール送信

センサーテストが終了すると、通知先に設定されている電話番号に確認用のメールを送信することができます。Ⓞを押すとメールが送信されます。受信できることを確認してください。

以上で初期設定が完了です。

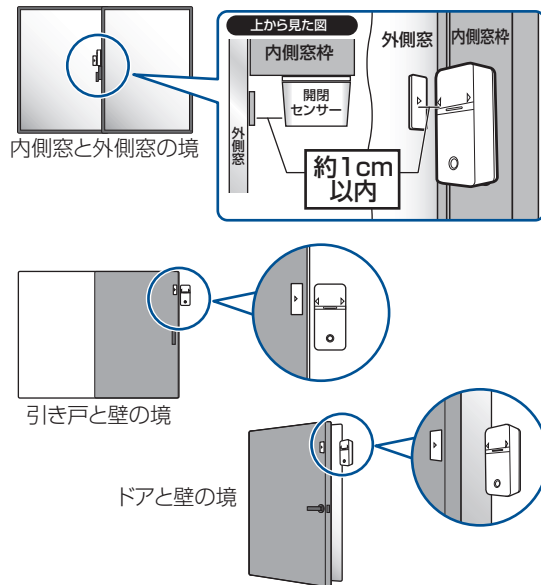
センサーの設置

!! ご注意

- センサーの設置については「設置場所と使用上のご注意」(▶ P.xviii)を確認のうえ、行ってください。
- 設置する前に、必ず「センサーの仕組みについて」(▶ P.2-10)をご確認ください。
- 設置する前に、必ず「センサーテスト」(▶ P.2-21)を行ってください。

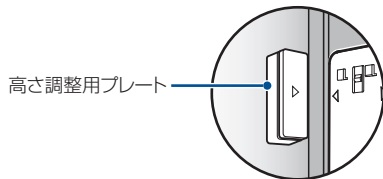
センサーの設置場所について

センサーは、下記の様な場所取り付けて使用します。




ご注意

- 「設置場所と使用上のご注意」(▶ P.xviii)を確認のうえ、正しく行ってください。設置する前に、仮設置をしてセンサーテストを行うことをお勧めいたします。
- マグネットおよび開閉センサー設置用プレートを貼り付ける際は、設置位置を良くご確認の上、最初に仮設置用剥離紙を剥がして、軽く貼り付けてください。設置位置や動作を確認後、間違いが無ければ、残りの設置用剥離紙を剥がして全体を貼り付けてください。
- マグネットを貼り付ける際、設置場所の形状や位置に応じて、センサーとマグネットの距離が約 1cm 以内になるよう「高さ調整用プレート」を使用してください。



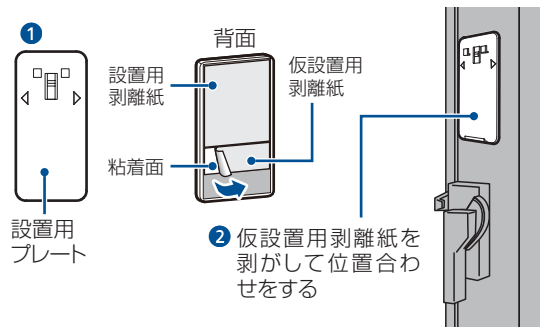
- 鉄製のドアにマグネットを貼り付ける場合、直接鉄製の部分にマグネットを貼り付けると、正しく動作しない場合があります。その場合、高さ調節用プレートを使用してください。
- センサーやマグネットおよび高さ調整用プレートを設置するときは、窓やドアが正常に開閉できるか確認してから

設置してください。また開閉するとき、センサーやマグネットおよび高さ調整用プレートが窓枠や壁などに接触しないよう、注意してください。

センサーの設置

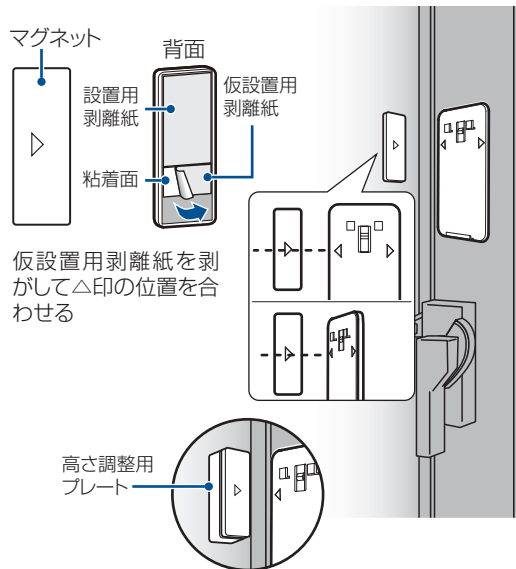
例) 引き違い窓に設置する場合

- 1** 設置場所の水分、油分、ほこり等の汚れを十分に除去する
- 2** 設置用プレートを貼り付ける
設置用プレートの剥離紙を剥がし、貼り付けます。



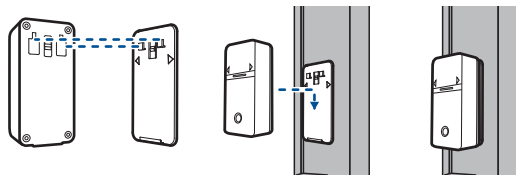
3 マグネットを貼り付ける

マグネット板の剥離紙を剥がし、△の印を合わせてセンサーとマグネットの距離が約1cm以内になる様に貼り付けます。



4 設置用プレートにセンサーを固定する

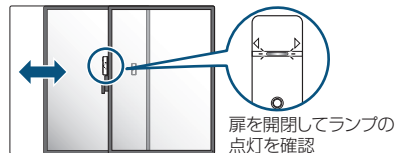
設置用プレートの凸部をセンサー背面の凹部に合わせて取り付けます。



お知らせ

- 窓やドアを閉じた状態でマグネットとセンサーの距離が約1cm以上離れて検知できない場合は、高さ調節用プレートを 사용하여、高さを調整してください。

5 窓を開閉してランプを確認する



センサーテスト

センサーとマグネットを設置する前に、設置予定の場所にセンサーおよびマグネットを仮設置して、本体とセンサーが正しく通信できるかテストしてください。

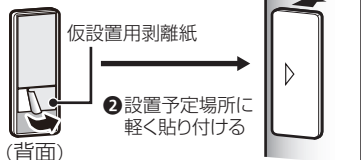
1 センサーの仮設置

設置予定の場所にセンサーとマグネットを仮設置します。

※仮設置する場合は、設置用プレートやマグネットの仮設置用剥離紙だけを剥がして、設置予定箇所に軽く貼り付けてください。

マグネットを仮設置する場合

- ① 仮設置用剥離紙だけ剥がす

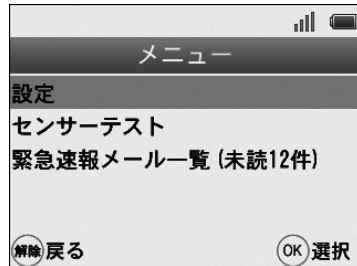


※設置用プレートも同様に仮設置してください。

2 メニュー画面の表示

待受け画面で、**OK**を押すとメニュー画面が表示されます。

「センサーテスト」を選んで**OK**を押します。



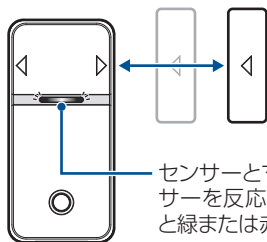
メニュー画面

『センサーテストを開始します』と音声流れ、センサーテストが開始されます。

3 センサーテストの開始

センサーテストが開始されます。

センサーが反応（緑と赤のランプが1回点灯）するまで、設置している窓やドアを開閉してください。



センサーとマグネットを動かして、センサーを反応させてください。反応すると緑または赤のランプが点灯します。

センサーが反応すると、信号が本体に送信され、開閉それぞれの検知が正しく検知された場合は、本体で「センサーを検知しました」と音声流れ、すべてのセンサーが正しく検知されると、画面に「完了」と表示されます。

 **ご注意**

- センサーが複数ある場合は、すべてのセンサーに対して、同様の操作を行ってください。

4 配信確認メール

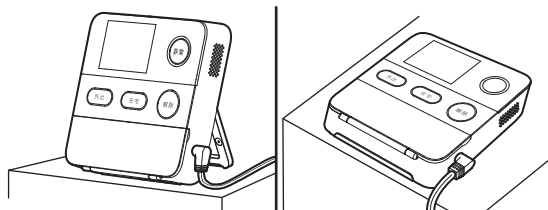
センサーテストが終了すると、通知先に設定されている電話番号に確認用のメールを送信することができます。Ⓚを押すとメールが送信されます。受信できることを確認してください。

- 5** センサーテスト完了後、設置位置や動作に問題がなければ、設置用剥離紙を剥がして貼り付ける

本体を設置する

■ 平置き／スタンド式設置

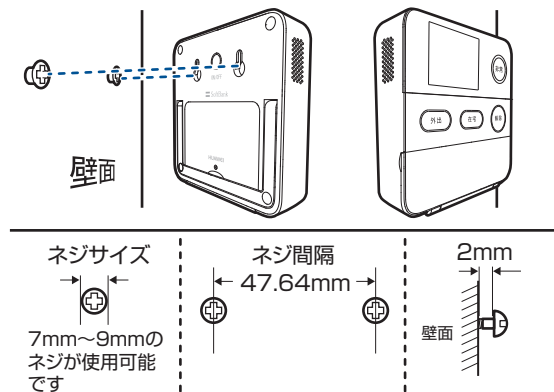
スタンドを閉じた状態または開いた状態で、水平面に置いて設置します。



日付／時刻の設定

■ 壁掛け式設置

下記の図を参考に、壁にネジを取り付け、本体を壁面に掛けます。※壁掛け用のネジは別途ご用意ください。



日付／時刻の設定

本機の時計機能の日時を正しく表示させるための設定をします。

!! ご注意

- 手で時刻を設定していても、電源を ON にしたときなどは、自動補正されます。標準時刻と異なる時刻を設定している場合でも自動補正されますのでご注意ください。

手動で時刻を設定する

例) 2012年10月10日 午前8時30分に設定する場合

- 1 メニュー画面を表示し、管理者用暗証番号を入力
- 2 管理者用暗証番号を入力後、設定画面を表示→「本体設定」を選択
- 3 「時刻設定」を選択
「年」が選択された状態で、日付設定画面が表示されず。

数字ボタンを②→①→②の順に押すか、またはを押すと数字が変わります。



数字を入力してを押すと、「月」が選択されます。

以降、同様の操作で「月」を「10」、「日」を「10」に設定します。



日付を設定したらⓀを押します。



時間設定画面が表示されます。

数字ボタンの⑧を押すか、またはを押すと数字が変わります。



数字を入力してを押すと、「分」が選択されます。同様の操作で「分」を「30」に設定します。



時刻を設定したらⓀを押します。

画面表示について

待受け画面

「日時」「アンテナの状態」「予備電源の状態」が表示されます。



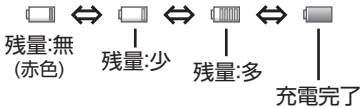
待受け画面

みまもりモード起動中は、日時表示と共に起動中のモードを示すアイコンが表示されます。



外出モード起動中の場合

3	電波状態表示 圏外 ⇄ ... ⇄ 強 無 弱 強
4	みまもりモード起動中 (▶ P.3-10)
5	キー操作ロック中 (▶ P.5-12)
6	お知らせメッセージ (▶ P.4-9)

1	日時 (▶ P.2-23) みまもりモード起動中は、起動中のモードを示すアイコンが表示されます。
2	電池パック残量表示 (▶ P.4-10)  充電中は、残量表示がアニメーション表示されます。

2

使用するまでの流れ／準備／基礎知識